

# 飛び出せ!! OKINAWA みんなでグッジョブ運動

## ヒト・モノ・企業のグッジョブ

沖縄を飛び出し、県外や海外で認められている  
ヒトやモノ・コト、企業のおふれる  
パワーをお届けします。

アーティスト  
**照屋勇賢**

今回のグッジョブはニューヨーク  
在住で、世界が目にする  
アーティスト「照屋勇賢さん」です。

「世界が尊敬する日本人」に  
選ばれたのよ。



照屋さんの作品  
「コーナーフォレスト」

NYを拠点にアートで  
社会問題を提起する作家

繊細な木々の梢が作り出す小さな森のような作品「コーナーフォレスト」。実はトイレットペーパーの芯で作られています。「森林伐採問題からインスピレーションを得た」と語るのは、沖縄県出身でニューヨーク在住のアーティスト、照屋勇賢さん。故郷沖縄の社会問題などをテーマにした独特な作品が世界から注目されています。その活躍はあのニュースウィークで「世界が尊敬する日本人100人(2009年)」に選ばれたほど。ニューヨーク近代美術館にも作品が収蔵されています。



作品インストール中の照屋さん

をテーマにした作品では、米軍のパラシュート降下訓練を紅型で表現。「沖縄の日常となった基地を歴史ある紅型の力強い型や色遣いで表現すれば、強いメッセージが伝

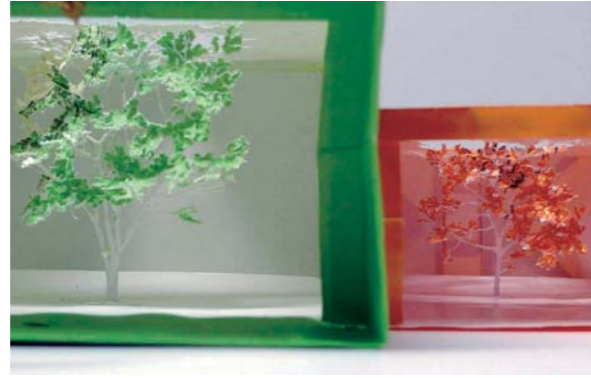
わると思った。アメリカで発表したオバマ大統領の紅型作品では、「県民はオバマ政権と直接関わりがある。もっと意識し主張してい」と提言。沖縄をテーマにした作品を海外で発表し、沖縄の状況を世界に発信したいと考えています。

「アートができること」を  
自らに問い続けて

来日中、群馬県で創作活動中に東日本大震災に遭い、新聞の被災地のがれきの写真から小さな双葉が芽吹く作品を発表。今年春には、世界の平等を訴える世界百九十六カ国・地域の国旗で一つの旗を作り上げた作品が、日本の中学校の美術教科書に採用されました。沖縄の中学生には「僕も君たちと同じ環境にいて教科書に載る作品が作れた。自分に自信を持って好きなことを追求して欲しい」とメッセージ。



靴空き箱を使ったスプレーペイント



2010年に発表した作品「notice\_forest (告知・森)」



世界196カ国・地域の国旗を一つの旗に染めた作品



震災のがれきの写真から芽吹く双葉に再建への希望を込めた作品

アートが社会や経済活動と深くつながり、創作活動にも社会的な意味が求められるニューヨーク。世界や日本、沖縄がどんな状況にあり、その中で自分はどう動くべきか。立ち位置を確認しながら存在意義を探る必要がある」と照屋さん。未来のビジョンを模索しながらの果敢な挑戦は続きます。

作品や発想に息づく  
「沖縄のDNA」

出自を含めた自分のオリジナリティーをどう表現できるかを常に考え、沖縄を離れてから沖縄を意識する機会が増えたといいます。生活感のある現実や日常を形にすることに興味があり、基地問題



アメリカ大使館に展示されている作品、「結い、You-I」



右の写真の絵柄拡大



シヨシャナ・ウェイン・ギャラリーにて、2011年個展展示風景



感動や驚きは  
国境を越えるのね。

世界から  
認められた  
ポイント!

「トイレットペーパーの芯のように、頭の中に生まれた地味なアイデアを否定せず工夫し、形になったときに感動や驚きがあることが現在の評価につながった」と照屋さん。創作活動をサポートする環境があることも大切なのだとか。紅型のように沖縄に元々あるものに斬新な発想を注ぐことも重要で、「島にはまだ見落とされている素材がぎっしりとある」と新たな課題探しにも意欲的です。

写真提供:照屋勇賢氏